

5部

4月生
進級手続きの
ご案内



1 正科生の進級手続き（4月生）

1 進級手続きの流れ

●来年度学費納入依頼書＝2/2発送予定

- ・学費納入をされた方へ順次「履修希望科目登録用紙」を送付します（早めに履修登録を行えば早めに教科書が届きます(3/5以降発送予定)）。
- ・下表の日程で諸手続きを行えば、新しく履修登録した科目でも3/17以降開講のスクーリングを受講可能です。

●進級の流れ・履修登録の諸注意（下記①②を参照）

①『学習の手引き』4章（2017版は6章）「1 正科生の進級手続き」

※2018年度より、学費の納入期限は3/24となります。3/24までの納入が難しい方は、学習の開始が遅くなることなどをご了承のうえ、書面（メール・FAX・郵送）で納入予定日をご連絡ください（最終納入期限：6/24）。

※「宅急便宛名用紙」「レポート送付申込書」は送付しません。2～4年次進級者に学費納入後、レポート提出台紙20冊を送付します。

②「履修希望科目登録用紙」に同封される手紙

●スクーリング受講可能日と学費納入・履修登録期限

	学費納入期限	履修登録期限(必着)
3/17～4/8の春期スクーリングⅠ	2/12	2/22
4/14～7/1の春期スクーリングⅡ	3/14	3/28

※定員に余裕がある場合は、スクーリング開講の3週間前の木曜日までに履修登録・受講申込をすれば可能です。

2 復学希望者

現在休学中で4月からの復学希望者は、「(退・復)学願」(本冊子or『学習の手引き』巻末)を、至急(遅くとも3/31までに)ご提出ください。受理後、2018年度の学費納入依頼書をお送りいたします。

3 休学希望者

4月からの休学希望者は、『学習の手引き』4章Ⅱ(2017版は6章Ⅱ)を確認のうえ、「休学許可願」(本冊子or『学習の手引き』巻末)を3/24までに提出してください。「休学許可願」の受理後、休学費納入依頼書(1万円)をお送りいたします(2005年度以前の入学者は除く)。

注1)『学習の手引き』より提出期限が変更になっています。

注2)休学は1年単位です(復学は2019年4/1以降可能)。

注3)休学中はレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講はできません(図書館:利用可。『With』:送付されます)。

注4)来年度の学費(8~13万円)は納入しないでください。

注5)3月末までのスクーリングは履修登録済であれば受講可能です。

4 在籍期間満了予定者へのお知らせ

1年後の2019年3月末で在籍期間が満了(1年次入学者=10年 2年次編入学者=9年 3年次編入学者=8年)となり、退学になる4月生の方は、下記のとおりです。

- ①学籍番号09で始まる正科生で休学したことのない方
- ②学籍番号08で始まる正科生で休学を1回(1年分)した方
- ③学籍番号07で始まる正科生で休学を2回(2年分)した方

④学籍番号06で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方

⑤学籍番号05で始まる正科生で休学を4回（4年分）した方

卒業や目指す目的を是非成就していただければ、と心より願っておりますが、学習計画書、下記の点にご注意ください。

- ・在学期間（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）後の休学はできません。そのため⑤に該当する方は休学ができませんので、来年3月末で在籍期間が満了になります。
- ・在籍期間が満了になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでで修得した単位は、再入学年度のカリキュラムに合わせて単位認定されます。

5 転学科希望者

受付は1/20で終了しました（『With』128号p.32参照）。

2 // 4月に編・再入学を希望する場合

①科目等履修生から4/1付で正科生1年次・2年次・3年次に（編）入学

②正科生を退学or卒業し科目等履修生に再入学

上記①or②を希望する場合は、下記を行ってください。

- ・2/28までに「再入学予定者 事前申告書」（『With』128号巻末）を提出（未提出で3月のスクーリング受講・レポート提出を行った場合、再入学できない場合があります）。
- ・4/10までに出願（『学生募集要項 2018』をお取り寄せください）。

注1）『学習の手引き』4章Ⅲ（2017版は6章Ⅲ）および『学生募集要項 2018』をよくご確認ください。

注2)「退学願」(卒業以外の正科生)、もしくは「学生証返納・修了届」(科目等履修生)の提出も3/31までに行ってください。

注3)再入学時点での学費やカリキュラムが適用されるため、学費やカリキュラムが現在のものから変更になる場合があります。

※特別支援学校教諭免許状および高等学校免許状(福祉)については、取得ができなくなります。

注4)3月にスクーリング受講・レポート提出をする場合は、それらの結果が出た後4/10までに再入学手続き(出願)を行ってください。

【学習上の空白期間のご注意】

4月以降の学習開始が新学籍での履修登録完了後となるなど、手続きには時間がかかるため、学習上の空白期間(レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間)が発生します。

3 科目等履修生の継続手続き

※『学習の手引き』4章IV(2017版は6章IV)もよくご確認ください。

1 来年度の継続を希望される科目等履修生

【4月入学の科目等履修生の方へ】

大学より、「継続手続き書類」が届きましたら(2月上旬)、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・継続手続き書類(「履修希望科目登録用紙」等)の返送=4/10まで
- ・授業料(1単位あたり6,000円)の納入=4/20まで

※今回の継続にあたって在籍更新料30,000円は不要です(学籍番号が12

TZ・15TZ・15TG・15THで始まる4月生は2018年3月末まで、13TZ・16TZ・16TG・16THで始まる4月生は2019年9月末までは、毎年履修登録・継続手続きを行えば在籍更新料なしで在籍が可能です。

※高等学校教諭免許状（福祉）の「教職に関する科目」につきまして、2018年度に正科生の履修者がいない可能性があります。その場合、履修登録はできませんのでご注意ください。

【2015年4月入学の科目等履修生 15TZ・TG・TH001～399の方】

【2015年4月に在籍更新をした科目等履修生12TZ001～399の学籍の方】

大学より、「在籍更新手続き書類」が届きましたら（2月初旬）、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・「在籍更新手続き書類」（「履修希望科目登録用紙」等）の返送＝4／10まで
- ・授業料（1単位あたり6,000円）、在籍更新料（30,000円）の納入＝4／20まで

※上記の科目等履修生の方は、2018年3月末で一旦現在の学籍が修了扱いとなり、2018年4月以降も継続して学習する場合は在籍更新手続きおよび在籍更新料が必要になります（以後3年間在籍すること）。

※学籍番号は変更になりません。

※2018年度入学者のカリキュラムが適用されます（ただし、高等学校教諭免許状（福祉）、特別支援学校教諭免許状を希望している方は、2018年度に限り入学年度のカリキュラムを継続することができるものとします）。

2 来年度の継続を希望されない科目等履修生

「科目等履修生 学生証返納届」(『学習の手引き』巻末様式19(幼保特例講座受講者のみ希望によって様式15)) に学生証を貼付のうえ送付してください。

※単位修得証明書の発行をお急ぎの場合

2/28の提出期限にかかわらず早めのレポート提出を!

3 現在在籍中のすべての4月生科目等履修生の方へ

- ・継続手続きを行わない場合の在籍期限 = 3/31まで
- ・今年度のレポート提出期限 = 2/28まで (ただし早めにレポートを提出しないと「再提出」の機会がなくなりますのでご注意ください)
- ・科目修了試験受験・スクーリング受講期限 = 3/10まで (3/11以降のスクーリング受講を希望する方は別途お申し出ください)

※科目等履修生に休学制度はありません。新年度の履修登録を4/10までに行わない方は修了となり学籍を失います。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉援助技術演習B・II

- ・今まで何となく使っていた言葉でも意味が曖昧だったり、言葉自体が出てこなかったり、自分の今のレベルがどんなに酷いものだったか見直すことができた。言葉の意味が分かることで、そのシステムなどの内容が理解でき深まるのだと感じました。これからの学習に役立つ授業でした。
- ・実践的なソーシャルワークの展開過程を学ぶことができました。日頃業務の中で利用者についてのモニタリング記入がありますが、アセスメントの内容や過程を詳しく理解できて、そのサービスの根拠について学ぶことができました。

●社会福祉援助技術実習指導B-1+演習C-1

- ・グループワークで意見を出し合い、まとめる難しさを感じました。しかし多くの人の意見を聴くことで新たな考え方を知ることができました。
- ・様々な事例について感じたことは、個人、本人の価値観、これまでの人生がその後の状況に大きく影響するものであること、要介護状態の高齢者や貧困といわれる子どもたち当事者に耳を傾ける大切さを改めて気づかされました。

●精神保健福祉援助演習A

- ・グループワークを通して、自分の考え方の特徴や別な物事の見方があることに気づかされました。自分の意見を言語化し相手に伝えるスキルを高めていきたいと思いました。
- ・クライアントとの距離感の難しさを考えさせられた。関わり過ぎててもそうでなくてもいけない。クライアント主体を常に考えた上で、冷静に対応することで適切な距離感を取ることが大切だと考えさせられました。

●精神保健福祉援助演習B-1+実習指導A-1

- ・スクールソーシャルワーカーとして経験されている話を聞き、大変参考になった。今後の仕事にも活かすことができました。
- ・自分の言葉で伝えることの難しさ、知識を深めておくことの重要性を改めて感じました。自分のスキルとしてもっと高めていかなければならないと感じました。

●精神保健福祉援助演習C-2+実習指導B-2

- ・どの仕事でもそうであるが、自分をよく知らないのと援助支援はできないもののだと感じました。相手が人間であるがため抱え込みすぎれば自分がつぶれてしまうし、かといって放置するのも違う。自分をよく知り関わっていくことか大切だと思いました。